

医師は語る



医療法人社団健翔会
堀口医院 理事長
堀口 裕

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年も、「根元の医療」の重要性をご紹介してきましたが、皆様のお陰で急速に浸透してきました。昨年11月には、「統合医療でがんを克つ11月号」の巻頭において根元の医療が大々的に取り上げて頂きました。また、本年1月発行の「ライフライン21 がんの先進医療vol.12」においても、さらに詳細な記事を書いて頂くことになりました。さらに、5年前から計画されている本の出版も近く予定されております。

「根元の医療」の考え方は、とてもシンプルでどなたにもご理解いただけるものです。しかし、その医学的意義は大変重要です。とかく私たちは目に見えるものばかりに気をとられ、物事の本質を見失っていることが多いと感じます。世界中の医療技術がこれほどまでに発展しているにもかかわらず、「治る医療」とはほど遠いと思います。それは、今日の検査診断ですでに病気と判断できるものだけが、治療の対象になっているからです。病気を治療することは当然のことですが、何もないうちに急に病気が沸いてくることは絶対にありません。病気が起こるには必ず準備があります。それが「病気の根」であります。病気が根っから治らないのは、病気の根が存在

しているからです。私たちは病気の根を調べて病気の根を治療する。いわゆる「根元の医療」を実践すべきであります。このことは現代の医療の必要性を否定しているものではありません。むしろ病気に対しては、現代の医療は第一選択であります。ただ病気の改善のみならず、やはり病気の治療（ちゆ）を目指すのであれば、「根元の医療」が必須であることをご理解頂きたいのです。

実は、「根元の医療」は病気のためというよりも、病気にさせないためにつくられました。それは、病気になる苦痛だからというよりも、ひとたび病気になると、たとえ「根元の医療」を実践しても、すぐさま治療（ちゆ）できないからです。治療に至るまで相当長い時間がかかり、その間、粘り強い根気と努力が必要です。さらに、何よりも終末に陥っている重篤な病気では、「根元の医療」を併用しても治療にこぎつけるのは容易なことではありません。時には最悪の転帰をとることも少なくありません。もちろん私たちは無限に生きることができません。でも人生の最後まで健康を維持することが大切です。なぜなら、自分の人生を最高に満足させるために、健康は必須の要件だからです。家族につくす、友達につくす、社会に貢献する、自分の仕事や趣味を大いに味わう。そのためには、健康し

かないのであります。そして倫理的に考えましても、「自分の体だから、たとえ病気でボロボロになって朽ち果てても構わない」というのは間違っているように思えます。どんなに酷使した体であってもできるだけ手入れをしてお返しをする。そういう考え方が必要ではないでしょうか。それが、「根元の医療」を目指すもう一つの理由であります。



※右写真はvol.11です。堀口先生の記事が掲載されているのは1月発行のvol.12です。

【堀口裕先生プロフィール】

北海道出身。川崎医科大学医学部卒業。1992年香川県高松市で医療法人社団健翔会 堀口医院を開院。現在堀口医院理事長兼院長を務める。世界で初めて細胞の中を調べる「細胞内検査」を独自に考案され、世界各国で特許を取得。またその細胞のコンディショニングを取り戻すための「還元電子治療」を独自に開発。2011年5月、世界中医薬学会連合会、自然療法研究専門委員会、副会長に就任。現在は、病気の根を調べる「自己防御力診断」と病気の根を治療する「還元電子治療」を駆使し、全国で1万6千人以上の患者の治療に取り組む傍ら、「根元の医療」と呼ばれる新しい医療を推進し、全国で講演活動を行っている。

堀口医院で「病気の根を調べてみませんか？ 自己防御力診断のススメ」

長年の過労やストレスによって、自分の体に病気を出不きないという力（自己防御力）が弱まると「病気の根」が生え、やがては病気が起こります。「病気の根」があると病気が起こりやすくなり、あるいは既に何らかの病気が起こっている場合は改善しにくくなります。言い換えれば、「病気の根」を取り除くことが病気にならない、あるいは病気を改善する早道なのです。堀口医院では、自己防御力診断によって「病気の根」を調べることができます。具体的には、1. 細胞の元気度、2. 免疫力の丈夫さ、3. 炎症の鎮静度を調べ、その状態によって適切な治療法を導き出します。皆様も是非「病気の根」の状態を調べ、病気の予防・改善にお役立て下さい。

自己防御力診断（病気の根を調べる検査）

